

## トヨタ自動車特集



プリウスは発売直後から納車遅れとなるほどの人気



## 「クルマ離れ」の現状打破

本格的なスポーツ車を復活させる一方で、車を復活させる一方で、「GRMN」、「Gスポーツ」(通称ジーズ)の2年間で量販車をス

生まれた。11年からは「プリウス」という新規車登録の1台がブリウスとなつた。第1弾が1990年に達成した。記録を20年ぶりに塗り替

一方で、運転する楽しさを実感できる走りの味をここにだわったスポーツ車

GRMN

ジーズ

ドイツのヨルブルクリンク24時間耐久レースなどに挑戦するトヨタの車両を打破するための新たな挑戦だ。

一方で、運転する楽しさを実感できる走りの味をここにだわったスポーツ車

一方で、運転する楽しさを実感できる走りの味をここにだわったスポーツ車

一方で、運転する楽しさを実感できる走りの味をここにだわったスポーツ車

## 魅力ある車で市場活性化

トヨタ自動車は中期経営指針「グローバルビジョン」で「顧客に笑顔になっていただけの企業」を長期指針として掲げた。この思いを実現するために必要なのが、豊田章男社長が常々口にする「もっといいクルマづくり」だ。根っからのカーガイである豊田社長が先頭に立ち、自動車開発の現場では日夜「いいクルマづくり」に情熱を傾けている。

今年で2年目を迎えた社内表彰制度「トヨタアワード」。その年のイヤー車(HV)が大衆車となり、決める「カーチャンピオンズ・オブ・ザ・イヤー(COTY)」の社内版ともいえる豊田社長肝いりの表彰だ。

今年は社長賞にあたる「モリゾウ賞」に3代目「プリウス」が選ばれた。「リーマン・ショックや品質問題というトヨタ最大の危機のなか、トヨタを支えてくれた存在」と選定の理由を挙げた。

プリウスの10年の国内販売台数は30万台。小型車「カローラ」が1990年に達成した記録を20年ぶりに塗り替

今年は社長賞にあたる「モリゾウ賞」に3代目「プリウス」が選ばれた。「リーマン・ショックや品質問題とい

うな消費者の心をがっちり

つかみ、10年の国内新車登録の1台がブリウスとなつた。第1弾が1990年に達成した記録を20年ぶりに塗り替

日本で年末にも発売す

る「ヴィッツ」級の小型

HV、「アクア」も、米国では「プリウス」とい

う車名でプリウスシリーズの一つとして導入する予定。ブリウスが家族

一方で、運転する楽しさを実感できる走りの味をここにだわったスポーツ車

もういいクルマづくりには欠かせない。自らテストドライバーとしてハンドルを握り、テスト走行や

レース参戦を経験してきた豊田社長にとっても

トヨタが最先端技術の粹を結集して開

トヨタは金融危機前まで世界展開を拡大する

中で開発陣のマンパワーを證明した格好となつた。

トヨタは10月に「スポーツ車両統括部」を開設。毎年、一定の予算と開発人材を付けて権限を

今年で2年目を迎えた社内表彰制度「トヨタアワード」。その年のイヤー車(HV)が大衆車となり、決める「カーチャンピオンズ・オブ・ザ・イヤー(COTY)」の社内版ともいえる豊田社長肝いりの表彰だ。

いいクルマづくりに情熱

## プリウス

今年で2年目を迎えた社内表彰制度「トヨタアワード」。その年のイヤー車(HV)が大衆車となり、決める「カーチャンピオンズ・オブ・ザ・イヤー(COTY)」の社内版ともいえる豊田社長肝いりの表彰だ。

今年で2年目を迎えた社内表彰制度「トヨタアワード」。その年のイヤー車(HV)が大衆車となり、決める「カーチャンピオンズ・オブ・ザ・イヤー(COTY)」の社内版ともいえる豊田社長肝いりの表彰だ。